

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの検討結果と今後の課題等

1 会議等の開催結果

平成22年6月22日 H22年度 第1回適正利用・エコツーリズムWGを開催

知床世界自然遺産地域連絡会議適正利用・エコツーリズム部会と合同開催

主な検討内容

- ・ 個別課題(羅臼湖地区、ウトロ海域、先端部地区等の利用のあり方)の検討
- ・ エコツーリズム戦略の策定に関する合意形成
- ・ 知床半島における保護と利用に関する課題の提示

2 会議での合意内容

- ・ 検討会議の座長はWG座長が務める。
- ・ 全体会合と個別会合に分けて検討を行い、全体会合ではエコツーリズム戦略を、個別会合では羅臼湖や海域レクリエーション等の個別課題を議題とする。
- ・ エコツーリズム戦略については1年をメドに骨子を作成、2年目で具体化し、合意形成を進めた上で、3年目で試行を目指す。
- ・ エコツーリズム戦略の策定にあたっては、地元の意見を広く集約するためワークショップを開催する。
- ・ その他の個別課題については、地元などにおいて検討体制が整理でき次第、順次取り上げて解決を図る。
- ・ 既存の協議会等については、できるだけ早期に準備ができた協議会等から適正利用・エコツーリズム検討会議の個別会合等として連携・統合を図る。

3 今後解決すべき課題

- ・ エコツーリズム戦略の策定手順の検討
- ・ 個別課題の解決枠組みの決定
- ・ 個別課題とエコツーリズム戦略との連携の確保
- ・ (協議会等の統合の手順と時期の検討)

4 今後の主な予定

平成22年10月頃 第2回適正利用・エコツーリズムWG

知床世界自然遺産地域連絡会議適正利用・エコツーリズム部会と合同開催

- ・ エコツーリズム戦略の策定が主要検討課題

平成23年2月頃 第3回適正利用・エコツーリズムWG

知床世界自然遺産地域連絡会議適正利用・エコツーリズム部会と合同開催

- ・ エコツーリズム戦略の策定が主要検討課題

羅臼湖の適正な利用のあり方およびウトロ海域の適正な利用のあり方に関する個別会合をそれぞれ2回程度開催予定。また、エコツーリズム戦略策定のためのワークショップを数回開催予定。